

2017年度 体育学研究科(体育学専攻) 博士前期(修士)課程シラバス

科目名(副題)	開講年次(セメ)	授業形態	単位	担当者名
スポーツ原論研究	1・2年次春学期 (1・3セメスター)	講義 ※演習含む	2	近藤 良享
授業概要				
<p>スポーツは、現代社会を構成する主要な領域の一つとして認知され、同時に高く価値付けされている。しかし、その反面、多くの問題を抱えていることも確かである。その問題解決には、スポーツとは何か、体育とは何かといった原理論的な問いとそれへの解答が不可欠であり、それが諸問題への解決の糸口となる。</p>				
授業目標(到達目標)				
<p>履修者は、本授業で議論される体育、スポーツの諸問題について、あるべき姿を原理的、倫理的に考察し、その理解を深めると共に、体育、スポーツ関係者としての望ましい実践に貢献できるような価値観が形成できるようになる。具体的には、①現在の体育・スポーツの問題点が批判的に指摘できる。②自分が専攻する分野との関連が説明できる。③賛否論に基づいて、価値判断ができる。</p>				
成績評価方法・規準				
<p>履修生ごとに割り当てられた課題について、問題背景、諸議論をプレゼンテーションを行う。課題遂行の程度(準備、討論内容)によって総合的に評価する。</p>				
教科書・教材・参考文献 等				
<p>[テキスト] 近藤良享著『スポーツ倫理』不昧堂出版、2012年 [参考文献] 友添・近藤共著『スポーツ倫理を問う』大修館書店、2000年 近藤編著『スポーツ倫理の探究』大修館書店、2004年</p>				
授業計画				
	項目・内容			
1	体育・スポーツの概念論(1)体育とは何か			
2	体育・スポーツの概念論(2)スポーツとは何か			
3	歴史に規定された身体教育:戦前、戦中、戦後の体育教育の比較検討			
4	伝統スポーツ(身体運動文化)の変容:国際化への課題			
5	現代体育・スポーツの諸問題:レビュー			
6	スポーツ倫理学:目的と方法論			
7	ドーピング問題:アンチ・ドーピング規程、人権問題			
8	オリンピック問題:アジェンダ2020			
9	スポーツとジェンダー問題:タイトルIX、性別確認検査			
10	スポーツ統括団体問題:IOC,JOC,日本相撲協会などのガバナンス			
11	スポーツとメディア問題:放送枠の偏向、放映権			
12	審判員をめぐる問題:役割、誤審、地位向上、			
13	フェアプレイ論:意図的ルール違反、形式論とエートス論			
14	体罰・暴力問題:学校管理下、地域スポーツ、運動部活動、スポーツ指導のあり方			
15	まとめ:最終討議			
履修者へのコメント・学習課題(事前事後学習)				
<p>履修者は、各自に割り当てられた課題に留まらず、毎時のテーマに関連した新聞、雑誌などを読み、問題意識をもって授業にのぞむこと。</p>				